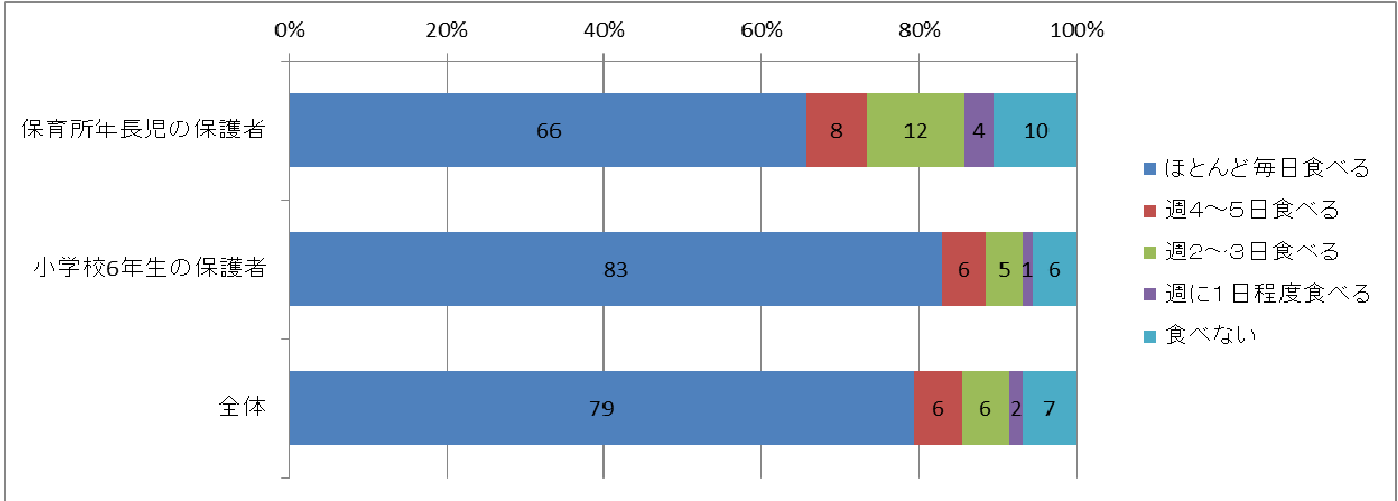


平成 30 年度食育に関するアンケート調査結果について

○保護者アンケート

問1 あなたは、ふだん朝食を食べていますか。

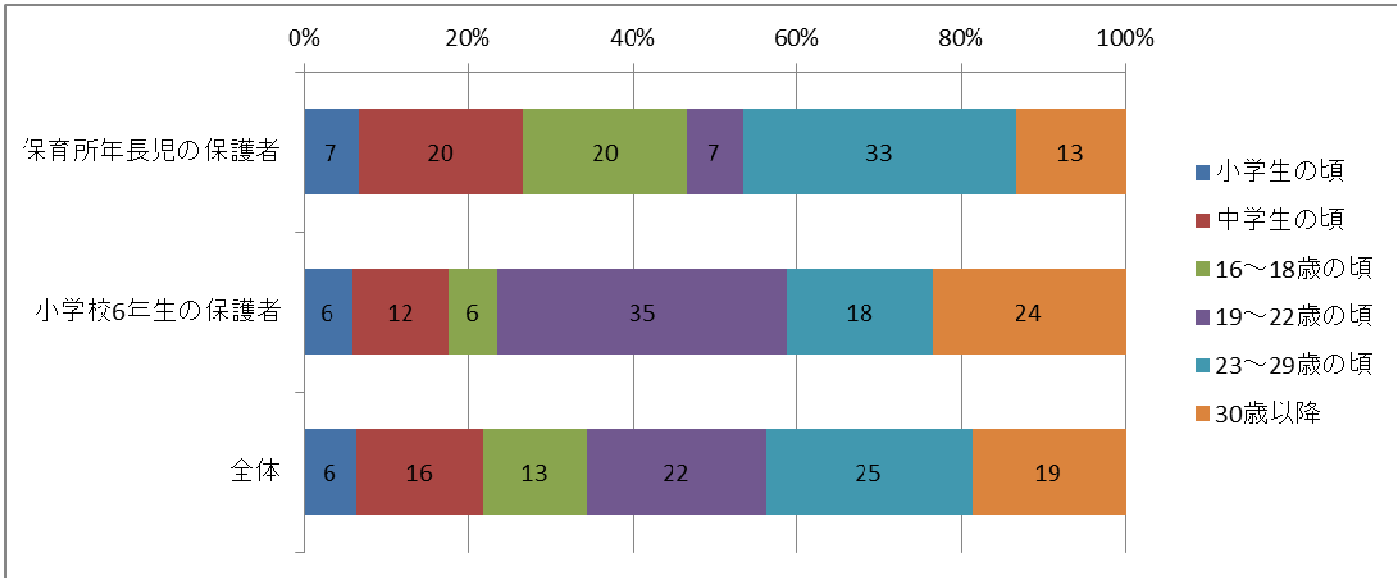
朝食を毎日とっている保護者は、全体で 79%であるが、保育園児の保護者が 66%、小学 6 年生の保護者は 83%と割合にひらきが見られた。保護者の平均年齢が、保育園年長児では 34.6 歳、小学 6 年生では 41.4 歳とそれぞれ市民アンケートにおける青年期Ⅱ (30~39 歳)、壮年期(40~64 歳)に該当する。青年期Ⅱでは「ほとんど毎日食べる」の割合は男性 73%、女性 83%であり、保育園児の保護者の割合はより低い結果となった。保育園を利用する家庭の多くは母親が勤めていると思われることから、朝の時間が忙しいことなどが欠食に影響している可能性が考えられる。市民アンケートの壮年期と小学 6 年生の保護者の結果に差は見られなかった。



1で「4. 週に1日程度食べる」、「5. 食べない」と答えた方にお聞きします。

いつ頃から、今の習慣（朝食を「週に1~2回食べている」又は「ほとんど食べない」）になりましたか。

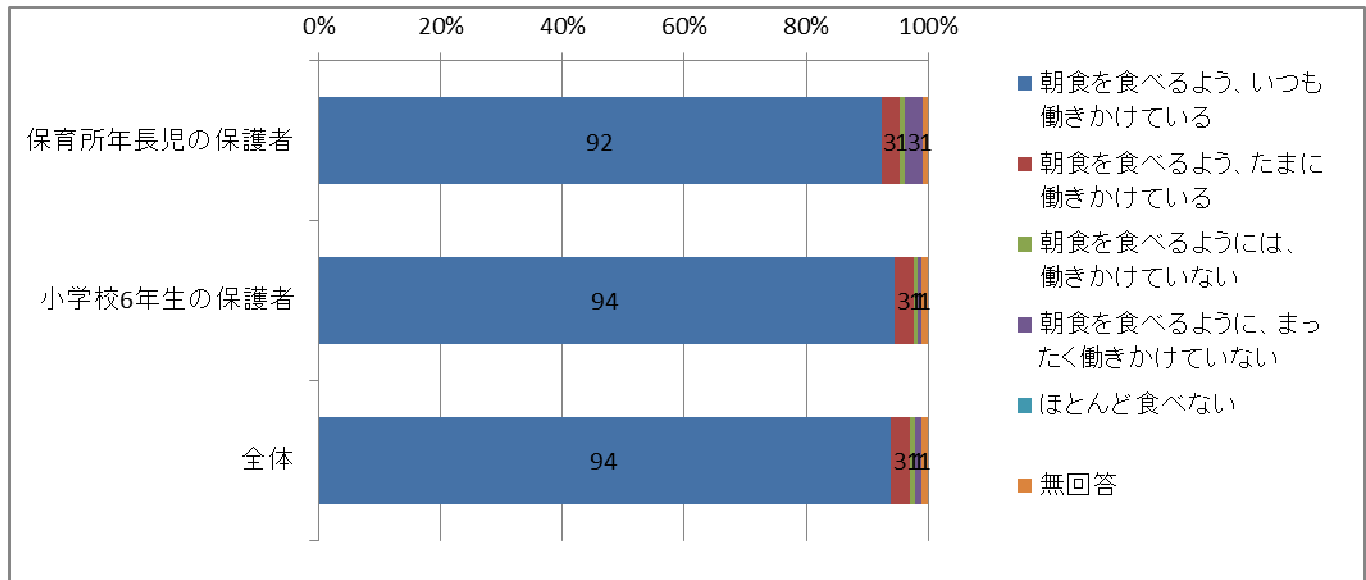
朝食欠食の習慣について、23~29 歳頃からが 25%と多く、次に 19~22 歳頃の 22%となっている。進学や就職などによる生活リズムの変化や単身生活などがきっかけとなって朝食を食べない習慣がつくと予想される年齢であり、今後、この年齢層への働きかけを行っていく必要があると思われる。



問2 あなたは、朝食について、お子さん（あなたが保護者として面倒をみている児童を含みます。

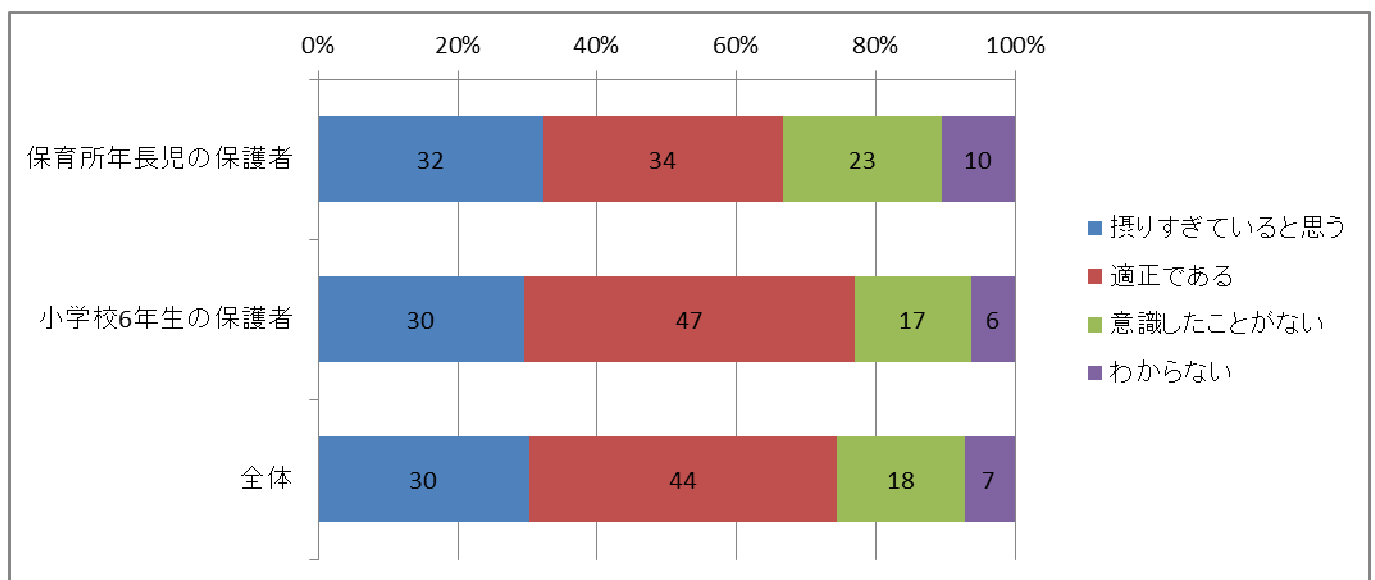
以下同じです。）に、どのように接していますか。（最もあてはまるものひとつに○）

保護者自身の朝食摂取状況では、保育園年長児と小学校6年生で差があったが、朝食に関するこどもへの接し方については、いずれも90%以上が「朝食を食べるよう、いつも働きかけている」という結果であった。



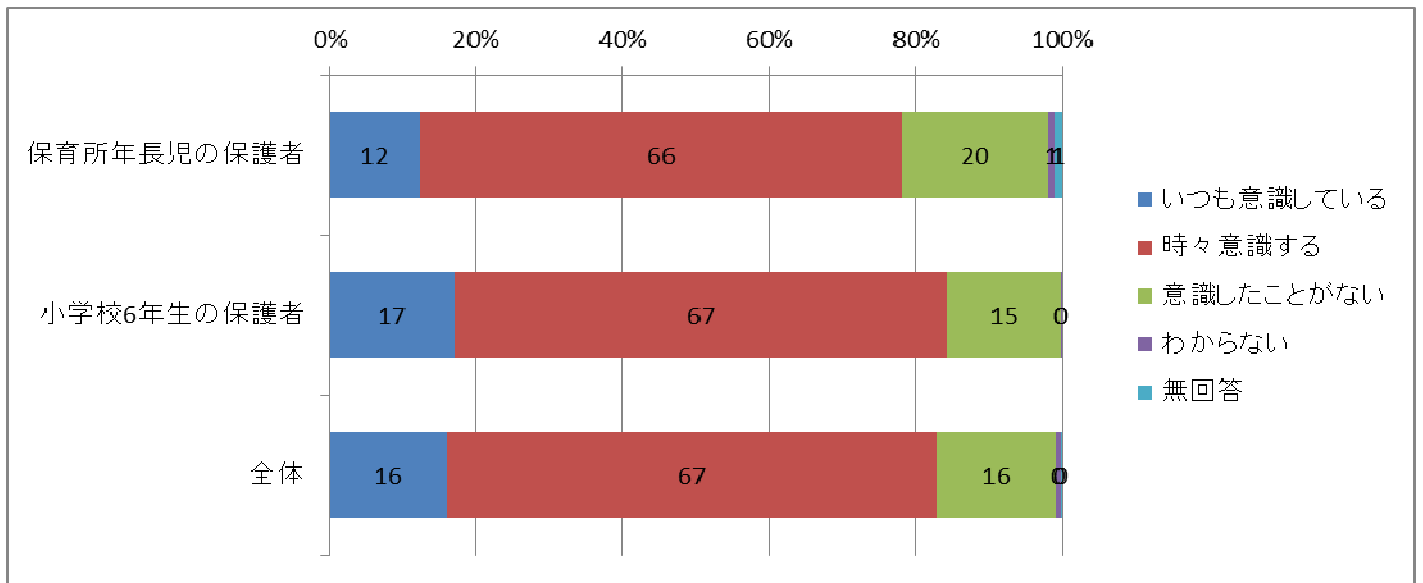
問3 あなたは、日頃「塩」を摂りすぎていると思いますか。（1つだけ○）

1日の塩の摂取量について、44%の保護者は適正であると考えており、30%が摂りすぎていると考えている。「意識したことがない」、「わからない」との回答は25%であった。



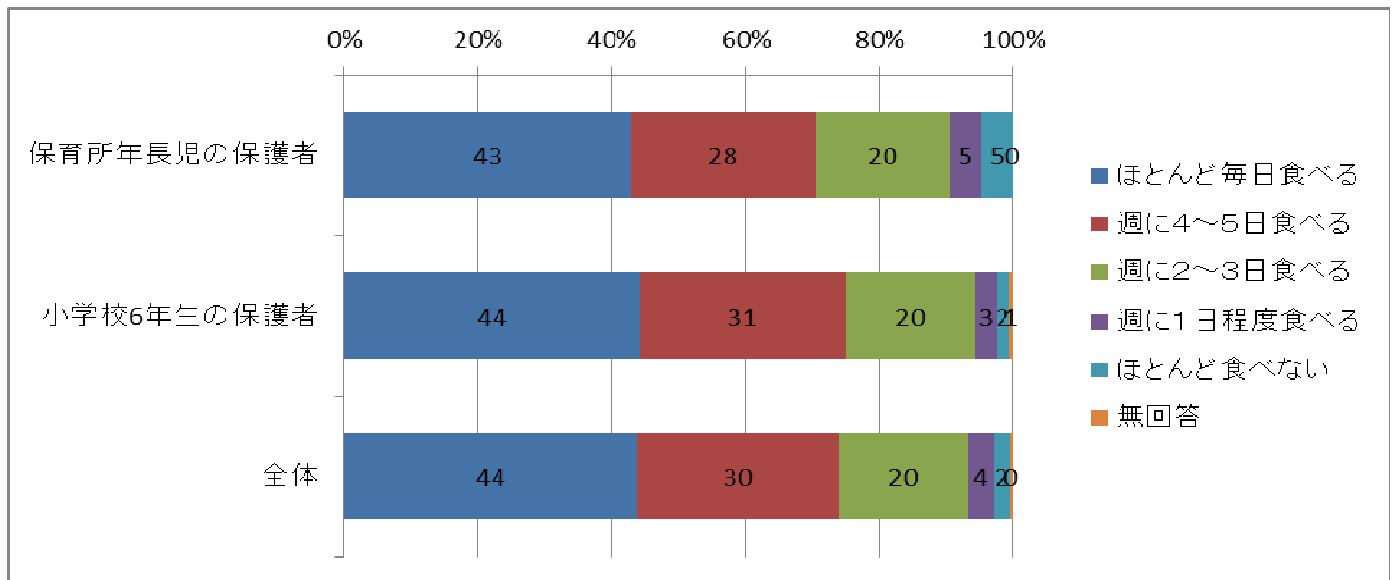
問4 あなたは日頃「減塩」を意識していますか。（1つだけ〇）

減塩について、「いつも意識している」16%、「時々意識している」67%であり、全体の83%が減塩を意識しているという結果となった。



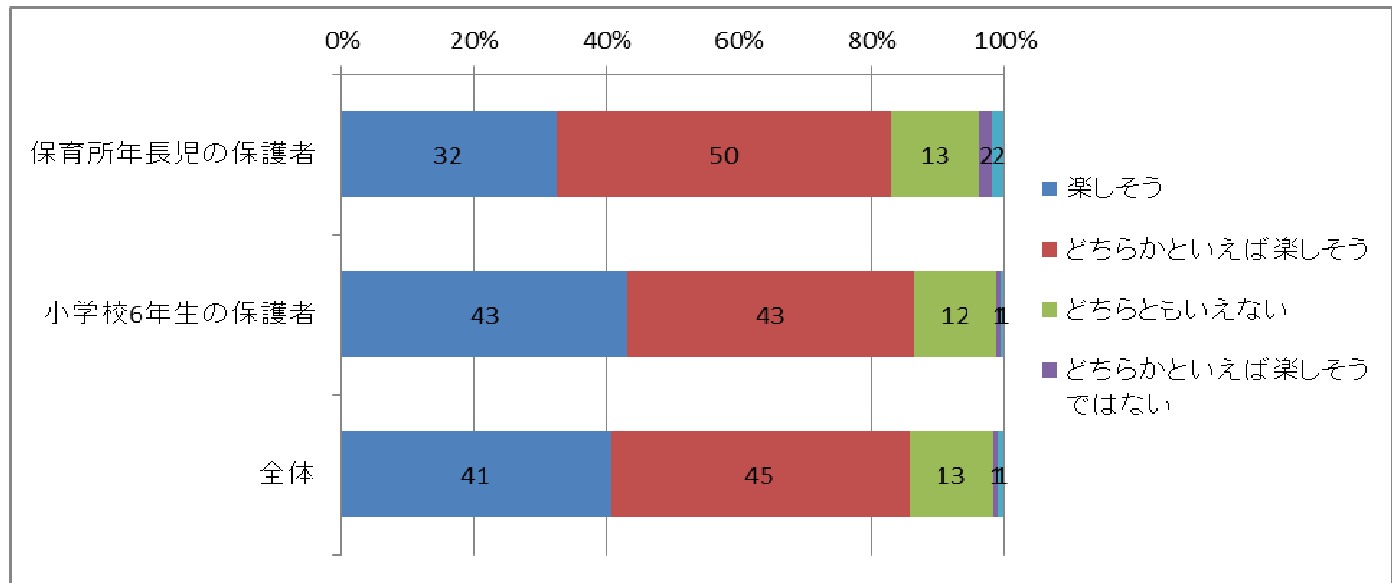
問5 あなたは、主食・主菜・副菜を三つそろえて食べることが、1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（1つだけ〇）

1日に2回以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べている保護者は全体で44%であり、第2次食育推進計画の目標値である65%を下回っている。



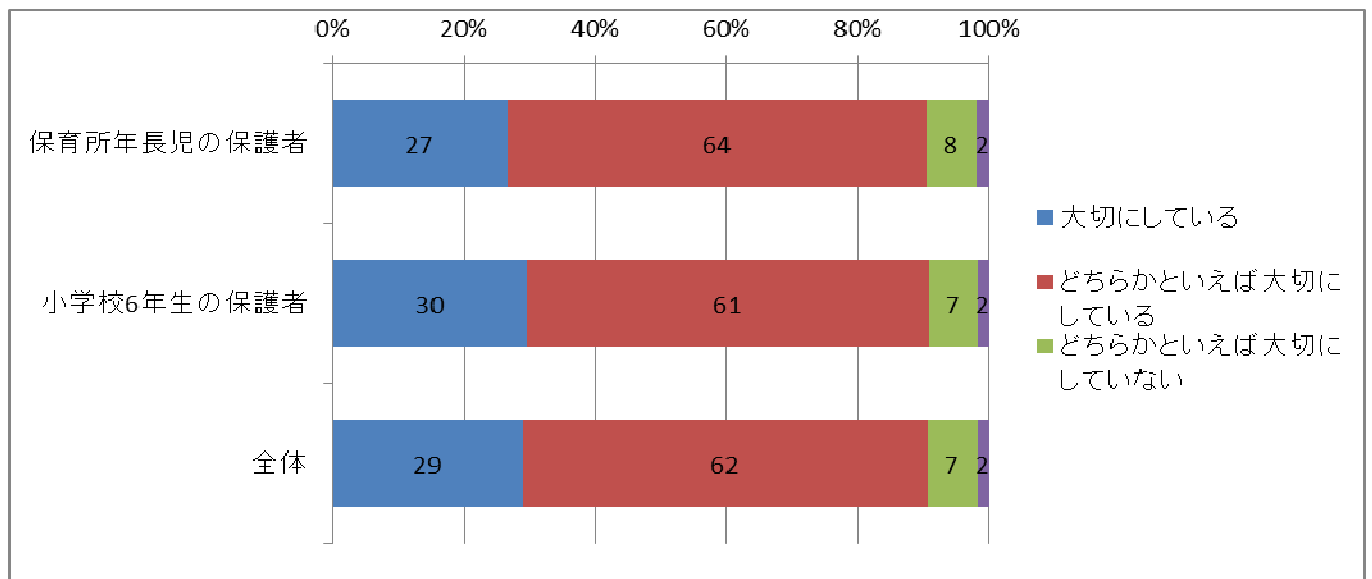
問6 あなたのお子さんは、食事の時間を楽しそうにしていますか。（1つだけ○）

お子さんが食事の時間を楽しんでいると感じている保護者は、全体で86%であり、第2次計画の目標値である90%を下回る結果となった。



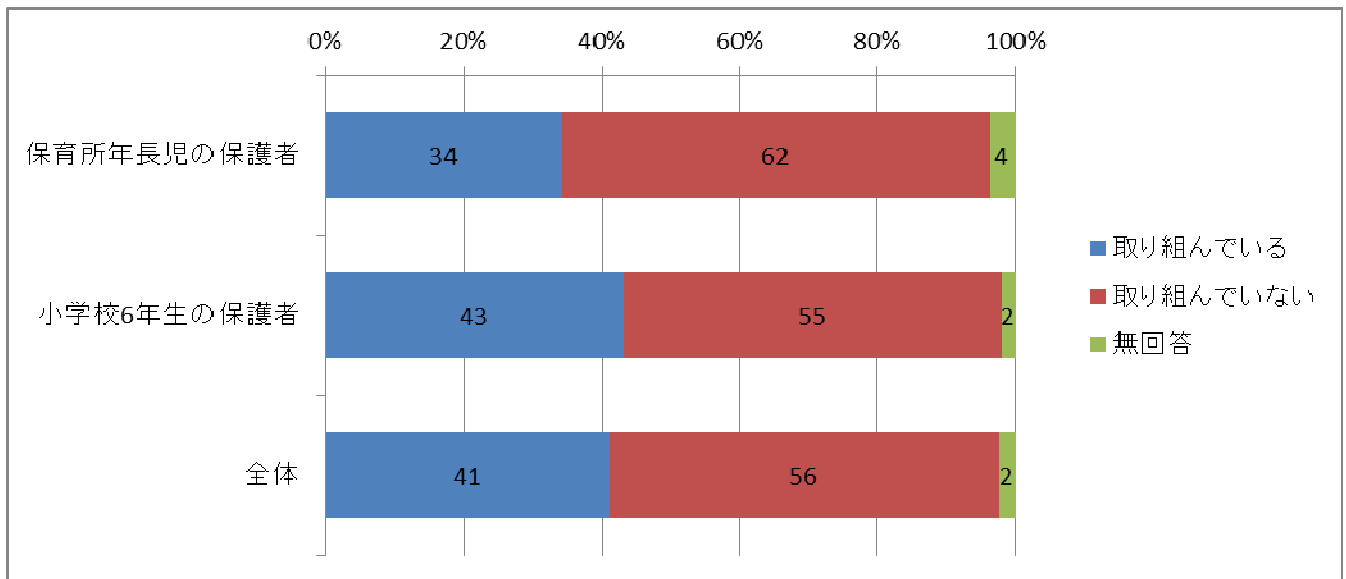
問7 あなたは、ふだん、伝統食や行事食及び食事のマナーなどを含め、食文化を大切にしていますか。（1つだけ○）

伝統食や行事食及び食事のマナーについて、保護者全体で「大切にしている」「どちらかといえば大切にしている」との回答の割合は、第2次計画の目標値である75%より高い91%ととなっている。



問8 あなたは、郷土料理や伝統料理（行事食を含む）など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や作法など、実際に取り組んでいますか。（1つだけ○）

郷土料理又は伝統料理など取り組んでいる保護者全体の割合は、41%であり、取り組んでいない保護者が56%である。伝統文化やマナーについて大切にしてはいるものの、実際の実践はできていないという現状が浮き彫りとなった。



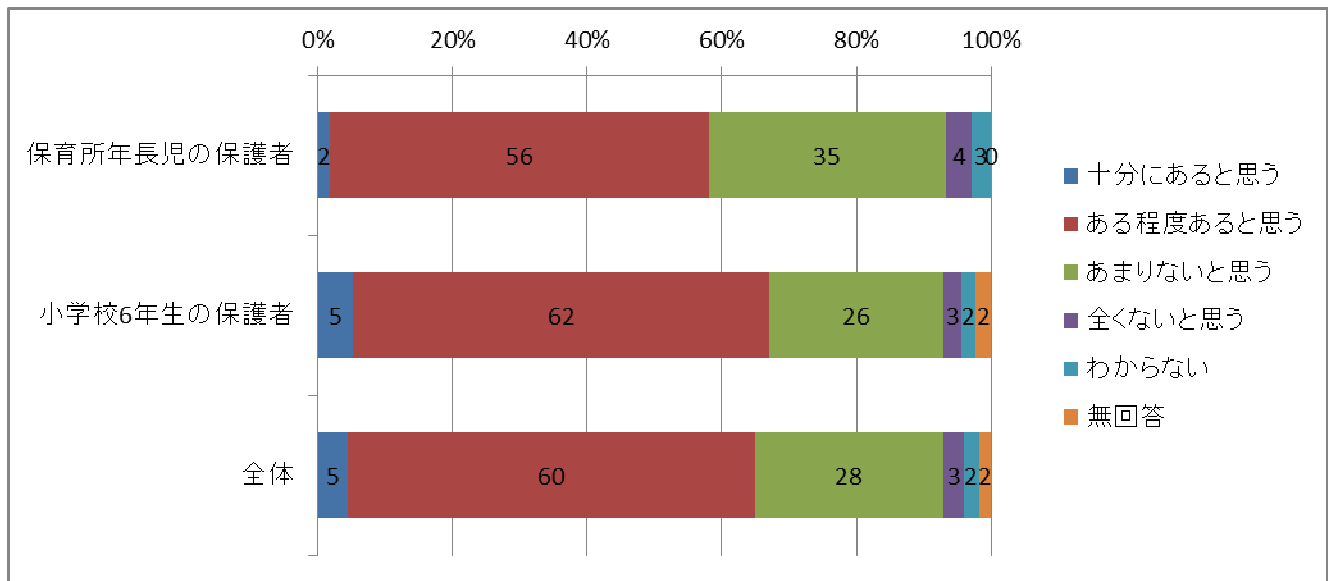
問9 あなたにとって、これからも伝えていきたい「いわき市の食べ物、料理」は何ですか。3つまで回答してください。（自由記載）

回答数の多い順に10位までは以下のとおりとなった。市民アンケートでも回答数の多かった「さんま・さんま料理」「めひかり・めひかり料理」「うに」などがあがっている。特に「さんまのポーポー焼き」との回答が多かった。

順位	食品名または料理名	人数	備考
1	さんま・さんま料理	101	ポーポー焼き76人・みりん干し9人・さんま4人・他12人
2	めひかり・めひかり料理	98	めひかり47人・から揚げ46人・天ぷら3人・他2人
3	うに	22	貝焼き22人
4	トマト	18	トマト17人・トマト料理1人
4	いか人参	18	
5	かつお・かつお料理	14	揚げ(焼き)浸し6人・たたき3人・刺身1人・他4人
6	梨	13	
7	あんこう	9	あんこう鍋7人・どぶ汁1人・とも酢1人
8	魚・海産物	7	
9	野菜	5	野菜4人・伝統野菜1人
9	のっぺい汁	5	
9	いちご	5	
10	煮物	4	
10	いわきネギ	4	
10	魚料理	4	
10	じゃんがら	4	

問10 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方がよいかや、どのような調理が必要かについての知識がありますか。（1つだけ○）

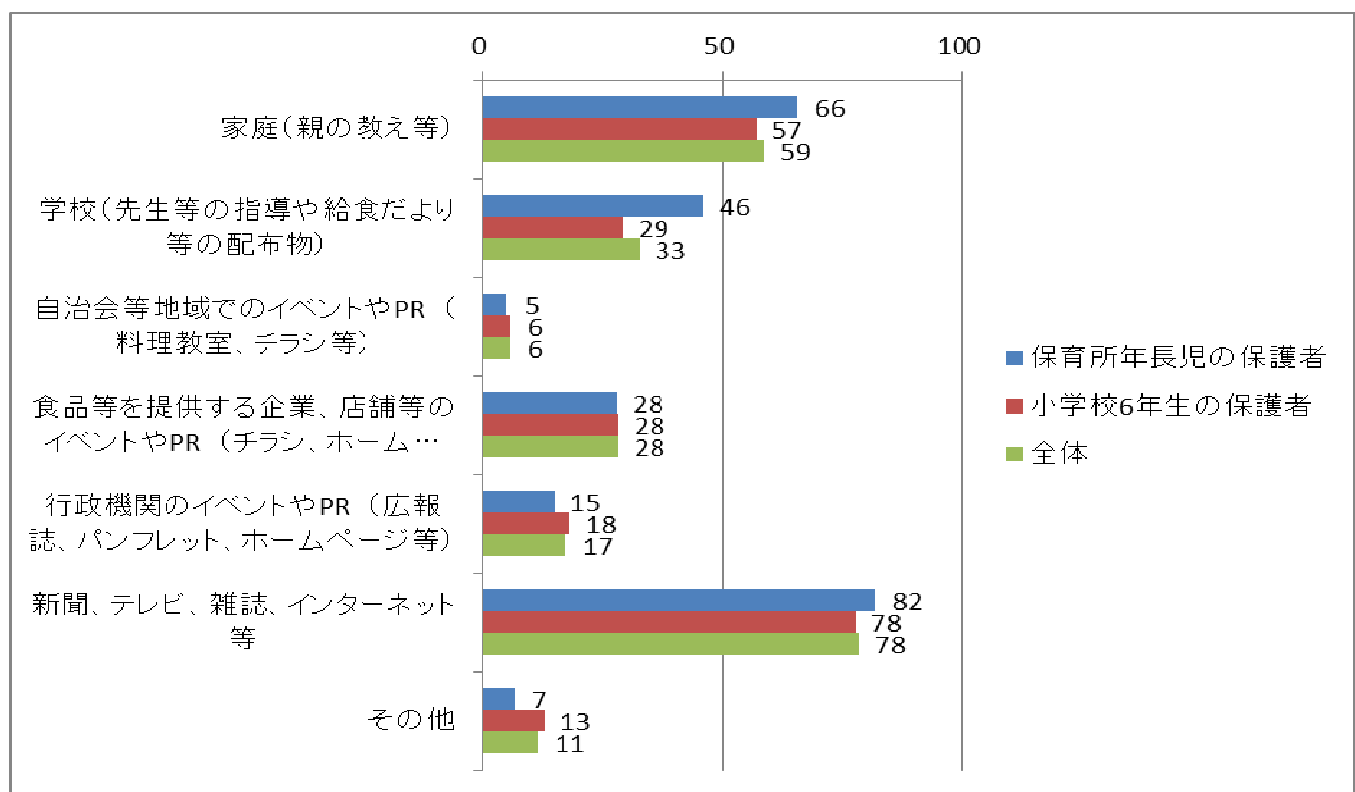
健康に悪影響を与えないための食品に知識について、「十分にあると思う」が5%、「ある程度あると思う」が60%となり、保護者全体の65%が知識があると考えているという結果となった。



問10で「1. 十分にあると思う」「2. ある程度あると思う」と答えた方にお聞きします。

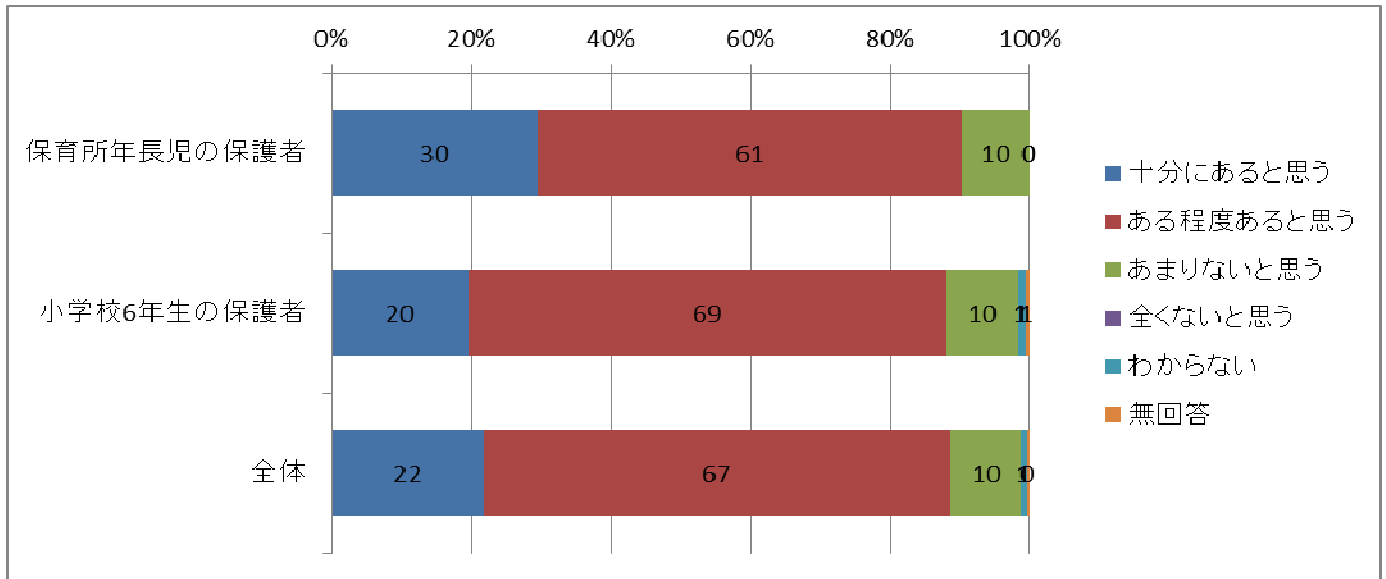
あなたは、食品の安全性に関する情報をどこで、何から入手しましたか。（あてはまるものすべてに○）

食品の安全性に関する情報源については、全体の78%が「新聞、テレビ、雑誌、インターネット等」となっており、次に「家庭（親の教え等）」59%となっている。



問11 あなたは、食物アレルギーについて、言葉や意味を知っていますか。（1つだけ〇）

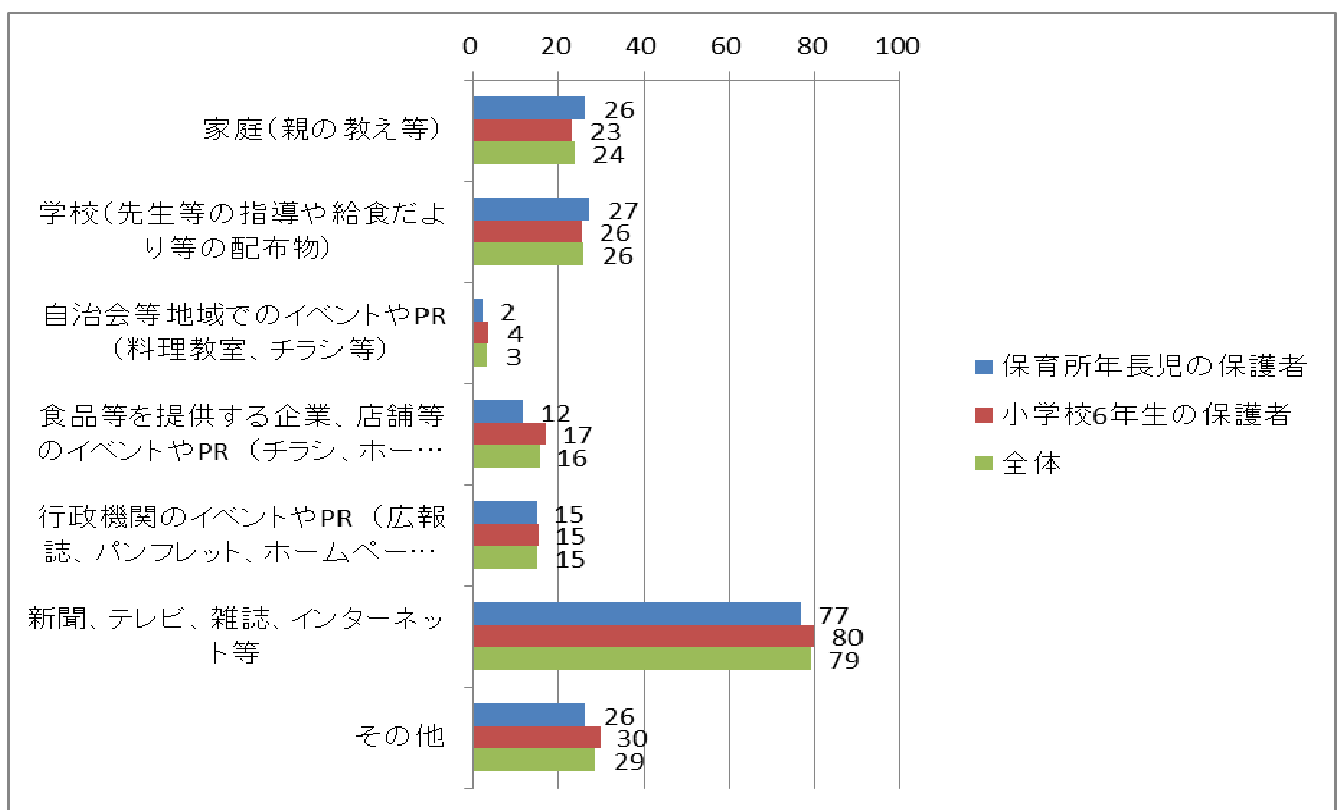
食物アレルギーに関する言葉や意味について、全体の22%が「十分にある」との回答であり、67%が「ある程度あると思う」となっており、10%が「あまりないと思う」となっている。



問11で「1. 十分に知っていると思う」「2. ある程度知っていると思う」と答えた方にお聞きします。

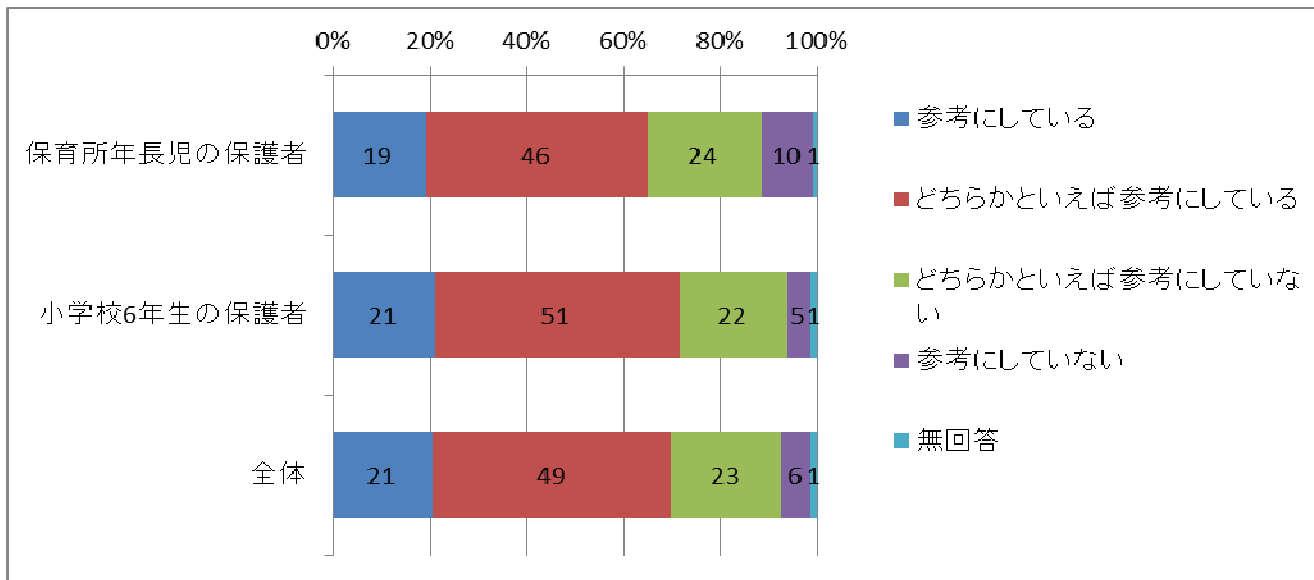
**あなたは、食物アレルギーに関する情報をどこで、何から入手しましたか。
（あてはまるものすべてに〇）**

食物アレルギーに関する情報源について、保護者の全体の79%が「新聞、テレビ、雑誌、インターネット等」、次いで「学校」23%、「家庭」21%と回答しており、多くの保護者が「新聞、テレビ、雑誌、インターネット等」からアレルギーに対する情報を得ていることがうかがえた。



問12 あなたは、ふだん食品を選択する際に栄養成分表示（カロリーや脂肪、塩分の量等の表示）や原材料等を参考にしますか。（1つだけ○）

食品を選択する際に、栄養成分表示や原材料等を「参考にしている」が21%、「どちらかといえば参考にしている」が49%で、全体の70%が栄養成分表示や原材料を参考としているという結果であった。



問12で「1. 参考にしている」「2. どちらかといえば参考にしている」と答えた方にお聞きします。

あなたが参考にする内容で一番重要だと思うものは何ですか。（1つだけ○）

食品を選択する際の参考として一番重要だと思うものは、全体で「原材料」が44%と高く、次に「カロリー」の31%となっている。「カロリー」をもっとも重視しているとの回答となった市民アンケートとは異なる結果となった。結果の背景には、こどもに安全なものを食べさせたいという親の意向が反映しているものと思われる。

